

◆ハザードトーク 65 台をご導入頂いた『厚木市役所様』が新聞で紹介されました。

厚木 台風シーズンを前に厚木市は7月、携帯型緊急災害用無線機を更新した。災害現場から写真や動画が送信できる機能が追加されたのが特徴。

写真や動画送信 新型無線機導入

市によると、新型機は縦12センチ横6センチ厚さ2センチ、現行のMCA無線機より一回り小さく軽量。災害時でもつながりやすいデータ帯域での通話が可能。現場の位置情報を地図情報

被災状況リアルタイムに

報システムに転送でき、災害対策本部内の大型モニターで被災状況をリアルタイムで確認、共有できる。

今回、2200万円の費用で5年間のリース方式で65台導入。危機管理課や消防本部、道路対策部などに配備して情報収集やパトロールの際に活用する。

MCA無線機は受信感度の低い地域があり、山間部を含めて市内全域をカバーする機種更新が課題になっていた。新型機の導入は県内では初めてという。

（山口 譲一）



現場映像も送信できる
新型無線機